



# 2020-2021 年度 藤沢ロータリークラブ週報



2020-2021 年度  
RI テーマ  
第 2780 地区 ロータリーは機会の扉を開く  
ガバナー 久保田 英男  
第 3 グループガバナー補佐 市川 洋

■創 立 / 昭和 29 年 6 月 3 日  
■第 67 代 会長 / 野口 捷代 幹事 / 小河 静雄  
■事務所 / 藤沢市藤沢 93 新堀ライブ館 204 TEL : 0466-25-4000 FAX : 0466-26-9292 E-mail : info@fujisawa-rotary.com  
■例会日 / 毎週水曜日 12:30~13:30  
■例会場 / 湘南クリスタルホテル TEL : 0466-28-2111

NO. 3 第 3200 例会 2020 年 7 月 15 日 天候 曇り

ロータリーソング「それこそロータリー」  
「四つのテスト」 反田 純正 会員



反田 会員 手話を交えて「四つのテスト」をやって  
いただきました

### 《ゲスト・ビジターの紹介》

ゲストスピーカー：武井 貞善 様 (十五屋代表  
紹介者：川上 彰久会員)  
ゲスト：大久保 邦彦 様 (WEB企画湘南/  
藤沢 RC IT管理担当) (紹介者：小河幹事)

・本日、初めての Zoom お試し例会でしたが、Zoom での出席者はありませんでした。

### 出席報告 ( )内は計算に用いた会員数

例会月日	会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率	メイクアップ 会員数	修正出席者数	修正出席率
7月1日	44(43)名	31名	12名	72.09%	0名	31名	72.09%
7月15日	44(43)名	31名	12名	72.09%			

### 《会長報告》

・昨年に引き続き、小島名誉会員に名誉会員ご推挙  
お願いをいたしましたところ、快諾のお便りを頂きました。  
ありがとうございます。

### 《幹事報告》

・ガバナー事務所よりお知らせです。例年 7 月に開催  
されます米山学友会主催のクリーンキャンペーンは、3 密を避けるため今年  
は中止となりました。米山奨学生と学友と対象とした交流会となりました  
ので、ご了承ください。

### 《お祝い》

会員誕生日 茂谷 浩子 会員



## 《スマイル報告》

椋梨 兼彰 会員

大久保様、本日はようこそ。

武井さま、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

川上 彰久 会員

武井さん、よろしくお願ひします。

## 《小話 3分間スピーチ》

今井 重信 会員



医者ですので、やっぱりコロナについて話さないわけには参りません。

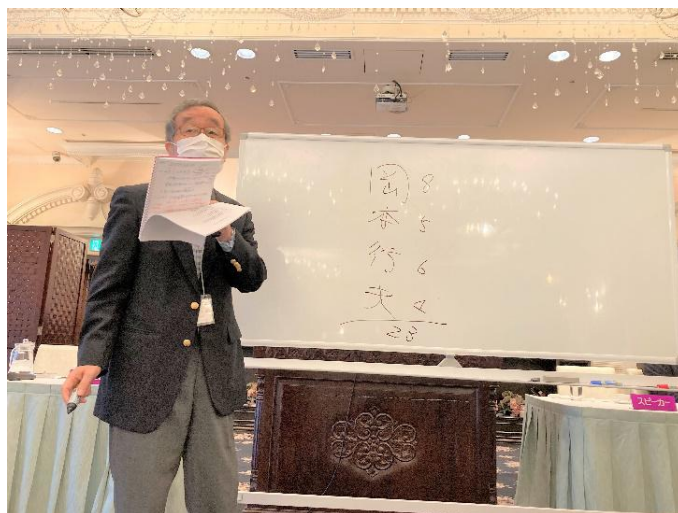
ステルスコロナつまりレーダーに引っかからないという意味ですが、症状が出ない隠れコロナ、仮面コロナが恐ろしいわけです。潜伏期間は症状が出ず、発症する場合と、全く症状の出ない仮面コロナがあります。どのような事かといいますと、交通事故などで運ばれてきた怪我人が陽性だった場合は、PCR検査をするまで、わかりません。入院して検査して最速でも1.5日かかります。それまでに感染を広げる恐れがあります。受け入れのできている病院は体制が出来ていますが、そうでない病院は医療崩壊を起こしかねません。感染症のイロハのイは、陽性者の把握です。感染者の疑いのある者の検査だけでなく、全国民に検査が必要です。口は、徹底的な隔離です。差別でなく、区別です。隔離が出来ていればロックダウンは必要ありません。今後とも頑張っまいます。

## 《卓話》

### 『2020年下半期の展望』

十五屋 代表

武井 貞善 様



2020年下半期の九星別の行動の指針(展望)は次の通りです。ここで言う下半期は8月以降になります。

一白水星

全 期

- ・押しても引いても動かない。ついに万事急す。
- ・焦ったところで事態は変わらない。強引に進めると余計悪くなる。
- ・しかし諦めるのは早い。いっそ信頼できる第三者に任せてみる。

下半期

- ・成就する。落ち着くところに落ち着く。
- ・しかしこれで終わったわけでない。
- ・いよいよ新たな問題に直面する。

二黒土星

全 期

- ・日が沈み一帯は闇に包まれてまるで見通しが立たない。
- ・疑心暗鬼となり力も発揮できない。
- ・傷心の時、今はひたすら耐えるしかない。

下半期

- ・難問解決。この好機を活かす。
- ・残っている問題はこの機会に片付ける。
- ・解決したなら、後は余計なことをしない。

### 三碧木星

#### 全 期

- ・難問解決。この好機を活かす。
- ・残っている問題はこの機会に片付ける。
- ・解決したなら、後は余計なことをしない。

#### 下半期

- ・成就する。落ち着くところに落ち着く。
- ・しかしこれで終わったわけでない。
- ・いよいよ新たな問題に直面する。

### 四緑木星

#### 全 期

- ・自分が他人を観察する様に、周りは自分を観察している。
- ・今更背伸びをしても始まらない。所詮それ以上でもなければ、それ以下でもない。
- ・身をただすこと、それ以外にはない。

#### 下半期

- ・陽が衰え、陰がますます壮んとなる。何をしてもうまく行かない。
- ・依って立つ基盤が崩れようとしている。転覆する恐れもある。
- ・言動を慎み自重して時を待つしかない。

### 五黄土星

#### 全 期

- ・元に戻る。
- ・波に乗るには、微かな兆しを的確に掴むこと。
- ・このチャンスをみすみす逃してはならない。
- ・口は災いの元。
- ・たった一言が流れを変えることもある。
- ・生きる信条を人に何を求めるか、だいたいそれでは見当がつく。

#### 下半期

- ・おだやかな日ざしを浴びたような満ち足りた気分になる。問題は、いかにそれを持続させるかである。
- ・先頭に立ちリードする立場に就くと迷いが起きる。人を敬い、相手を立てるようにして従うなら、困難な問題に遭遇しても案ずることはない。
- ・無気力な盲従ではいけない。積極的な従順である。また気の合った友と行動をとるにすれば、それぞれ持てる真価を発揮する。

### 六白金星

#### 全 期

- ・新たな出会いがある。
- ・全てこの世は無数の出会いから始まる。
- ・いかなる意味を持つか後にわかる。

#### 下半期

- ・見えざる強烈なパワーが周りに胎動している。
- ・強い波長だから危険もある。瞬発力を秘めているので安易に取り組むと後で悔やむ。
- ・逆転の機運。例えば、いつも破れる者が勝ち、連戦連勝の者がついに破れる。

### 七赤金星

#### 全 期

- ・物事の始まる時。
- ・全ては無心に感じることで始まる。
- ・正しい感応出ないと、感動はすぐ冷める。
- ・人々や物が集まり大いに賑わう。
- ・来るものは拒まず、去るものは追わず。
- ・しかし集まりすぎると予期せぬことも多くなる。

#### 下半期

- ・新たな出会いがある。
- ・全てこの世は無数の出会いから始まる。
- ・いかなる意味を持つか後にわかる。
- ・あわてると途中で失敗する。
- ・物事に順序があり、飛び越えたりすると、結局後戻りしなくてはならない。
- ・急がば回れ、目標への到達は遠くない。

### 八白土星

#### 全 期

- ・チャンス到来。
- ・蓄えたものを積極的に活かす時、活用すればするほど強力となる。
- ・外に出ること。望むものは内側より外にある。

#### 下半期

- ・思い通りにゆかない。
- ・機が熟していない。事の始まりに無理がある。
- ・強行すれば悔いが残る。

### 九紫火星

#### 全 期

- ・思い通りに行かない。にらみ合ったまま互いに意地を張り合う。

- ・だがいつまでも続くものでもない、あまり気にしない方がよい。
- ・強引な手段は事態を悪化させる。

#### 下半期

- ・成就する。落ち着くところに落ち着く。
- ・しかしこれで終わったわけではない。
- ・いよいよ新たな問題に直面する。

◎今年2020年は何で大変な時なのかを考える時まず今の国の運勢はどうなのかを考えてみたいと思います。

- ・国の運勢は20年毎に変わっていきます。今の時代は2004年から2023年の八白の時代と言われています。八白の象意は変革です。正に行政改革などは代表的な事柄になります。そして次の時代が九紫の時代で、2024年から九紫の時代なのですがこの九紫の時代エネルギーが既に動き出しているのが今なのです。八白のエネルギーと九紫のエネルギーが重なり合っている訳なのでから色々な現象が現れて来ます。つまり2020年はこれまでの常識と非常識が大きく入れ替わる時なのです。こうした大変な現象や事柄が落ち着くのは2023年ごろと私は見えています。次に判断するのは今年（庚子七赤金星の年）と同じ十干十二支で見えます。

◎同じ庚子七赤金星はどんな年（1840年が180年前）

- ・大きな事柄としては阿片戦争がありました。大きな摩擦が生じる年であった訳で、これから推測すると色々な意味で戦いや摩擦が起きると思われる。
- 180年前の日本はいよいよ幕末の時代へと向かっていく訳です。

◎同じ庚子の年はどんな年（60年前ごと）

- ・1180年 源頼朝によって鎌倉幕府ができる・
- ・1600年 関ヶ原の戦い
- ・1840年 阿片戦争
- ・1900年 津田塾や東京女子医科大学が創立され女子の教育が大きく開かれた
- ・1960年 池田内閣所得倍増計画、安保闘争

◎同じ七赤金星の年はどんな年（2011年の十代ニュース）

- 1位・東日本大震災、原発事故で甚大被害
- 2位・原発停止相次ぎ、電力不足が深刻化

3位・なでしこジャパン、サッカーW杯優勝

4位・菅首相が条件付き退陣表明、3カ月続投。野田政権発足

5位・歴史的円高、一時1ドル＝75円32銭

6位・小沢民主党元代表を強制起訴、公判で否認

7位・野田首相、TPP交渉参加を表明

8位・大阪府知事・市長のダブル選で「維新の会」圧勝

◎庚子を易でみると風雷益です。そして下半期の成り行きは互卦で見ます。

結果は山地剥となります。このことを読み下すと次のようになります。

- ・事にあたっては窮地に立たされることが暗示されている卦です。秘密がバレたり、家計が火の車になったり、左遷やリストラなど、困難なことがあるかもしれません。しかし、しっかりと頭を巡らせ、地道でも状況を立て直すようにしていれば、乗り切れる運気でもありと考えられます。弱点を強化するべく勉強したり、訓練を受けたりすることもよいと言えるでしょう。また借金返済や節約計画を立て家計の見直しをするのにもよいと考えられているときです。この卦の改善策としては、わざわざ危険なところに行って追い詰められるようなことをしないとすることになります。



紹介者の川上会員より武井様のご紹介

本日のお料理

